



平成25年11月22日(金)
13:00～17:00 (開場12:00)
フクラシア東京ステーション

第10回NBR公開シンポジウム ニホンザルモデルが拓く新しい医療 ～脳科学の種が実るまで～

主催：自然科学研究機構 生理学研究所「ニホンザル」バイオリソース
運営委員会・京都大学霊長類研究所

後援：理化学研究所 バイオリソースセンター・国立遺伝学研究所・
日本神経科学学会・日本生理学会・日本霊長類学会・
日本実験動物学会・国立大学法人動物実験施設協議会・
公私立大学実験動物施設協議会・動物実験関係者連絡協議会

第1セッション
「パーキンソン病研究と
霊長類モデル」

第2セッション
「ニホンザルが貢献する
新しい医療の芽」

研究室で芽生えた新しい
可能性が医療の現場に
生かされるまでの長い道の
りの中で、ニホンザルたちが
果たしている大きな役割を
ご紹介します

参加費無料
(要事前予約)

お問い合わせ・お申込先
NBR公開シンポジウム事務局
nbr_sympo@nips.ac.jp
http://www.macaque.ni
ps.ac.jp/
事前申込期限：
平成25年11月19日(火)

ナショナルバイオリソースプロジェクト「ニホンザル」
第10回公開シンポジウム

ニホンザルモデルが拓く新しい医療
～脳科学の種が実るまで～

日時

2013年11月22日(金)
13時～17時(開場12時)

場所

フクラシア東京ステーション
会議室D

東京都千代田区大手町2-6-1 朝日生命大手町ビル6階
JR「東京駅」・東京メトロ「大手町駅」地下直結

プログラム

開会・来賓挨拶

第1セッション：パーキンソン病研究と霊長類モデル

- 13:10 ナショナルバイオリソースプロジェクト「ニホンザル」について
泰羅雅登(東京医科歯科大学)
- 13:30 遺伝子改変サルモデルを用いてパーキンソン病を克服する
高田昌彦(京都大学霊長類研究所)
- 14:00 パーキンソン病に対する脳深部刺激療法的作用メカニズム
南部 篤(生理学研究所)
- 14:30 臨床からの期待－脳深部刺激療法関連研究を中心に－
深谷 親(日本大学)

第2セッション：ニホンザルが貢献する新しい医療の芽

- 15:10 巧緻運動機能を司る神経回路の解明と機能回復の可能性
伊佐 正(生理学研究所)
- 15:30 人工神経接続技術開発と霊長類モデル
西村幸男(生理学研究所)
- 16:00 霊長類モデルで読み解く脳の視覚イメージ
長谷川功(新潟大学)

総合討論・意見交換
閉会挨拶

参加無料
【要事前予約】
定員 100名

申込方法

下記ホームページ上の申込
フォームからお申込み下さい

主催

自然科学研究機構 生理
学研究所「ニホンザル」バイ
オリソース運営委員会・
京都大学霊長類研究所

後援

独立行政法人 理化学研究所
バイオリソースセンター
大学共同利用機関法人 情
報・システム研究機構 国立遺
伝学研究所
日本神経科学学会
一般社団法人 日本生理学会
日本霊長類学会
公益社団法人 日本実験動物
学会
国立大学法人動物実験施設
協議会
公私立大学実験動物施設協
議会
特定非営利活動法人 動物実
験関係者連絡協議会

問い合わせ先

京都大学霊長類研究所内
第10回公開シンポジウム事務局
Tel/Fax : 0568-61-0344
E-mail:
nbr_sympo@nips.ac.jp

[HTTP://WWW.MACAQUE.NIPS.AC.JP/SYMP02013/](http://www.macaque.nips.ac.jp/sympo2013/)